

機械器具 22 検眼用器具  
 一般医療機器 レフラクタ JMDN35299000  
**リモートビジョン RV-II**

**【警告】**  
なし

**【禁忌・禁止】**  
なし

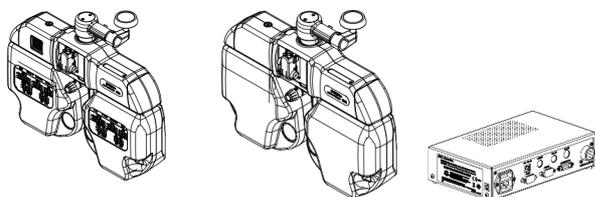
**【形状・構造及び原理等】**

1. 構成

各構成部品は単体又は任意の組み合わせで出荷されます。

基本構成

- ① レフラクター本体 (with LED or without LED)
- ② 電源ボックス (RV-II Power Box)



主なオプション構成

- ① 手持リモコン (RV-II Controller)
- ② 卓上リモコン (RV-II Control Box)
- ③ プリンター (RV-II Printer)
- ④ 移動媒体 (RV-II i-Media)

2. 体に接触する部分の組成

額当て: ABS樹脂

3. 電気的定格

電源電圧: AC100-240V、50/60Hz、80VA  
 電撃に対する保護の形式: クラス I  
 電撃に対する保護の程度: B型装着部

4. 寸法及び質量

レフラクター本体

寸法: 388mm (W) × 110mm (D) × 268mm (H)  
 質量: 5kg

電源ボックス

寸法: 140mm (W) × 59mm (D) × 230.5mm (H)  
 質量: 1.1kg

5. 作動・動作原理

本装置は装置内部に検眼レンズを内蔵しています。検者は被検者に検眼窓から視力表を見せて検眼レンズを交換しながら被検者の自覚的屈折力の測定を行います。

**【使用目的、効能又は効果】**

被検者に視標を見せ、球面度数、乱視度数、乱視軸角度の自覚測定、両眼視機能の検査を行う。

機器の分類: 一般医療機器 (クラス I)

**【操作方法又は使用方法等】**

1. 準備

- ① 水準器を上方から見ながら、水平調整ノブを回し、水準器の気泡が円の中に入るように調整して下さい。
- ② 近点視力表取付部に近点スケールを差し込んで下さい。固定リベットで近点スケールを固定して下さい。近点スケールに近点視力表ホルダを差し込んで下さい。
- ③ 電源コードをしっかりとコンセントに接続して下さい。

- ④ 電源ボックスのパワースイッチをONして下さい。
2. 測定
  - ① 角膜頂点合わせを行い、測定を開始します。
  - ② 測定を行う際、被検者が不安にならないよう検査の内容を説明してリラックスさせてあげてください。
3. 終了
  - ① 使用後は電源ボックスのパワースイッチをOFFして下さい。
  - ② 電源コードをコンセントからしっかり取り外します。

**【使用上の注意】**

1. 取扱説明書を熟読し、本機の操作に熟練の上、実際にご使用下さい。
2. 設置のときは次の事項にご注意下さい。
  - ① 液体のかからない場所に設置して下さい。
  - ② 使用場所の温度は約 10°C~40°C、湿度は 30%~90% (結露なきこと) が最良の使用環境です。電源部の周辺には冷却用通気をさまたげる障害物を置かないで下さい。埃のたつ場所でのご使用は避けて下さい。
  - ③ 傾斜、振動、衝撃 (運搬時を含む) など安定状態にご注意下さい。
  - ④ 化学薬品の保管場所や引火ガスの発生する場所に設置しないで下さい。
  - ⑤ 当機の入力電源、負荷でお使い下さい。
3. 機器をご使用前には次の事項にご注意下さい。
  - ① 正確に作動することを確認して下さい。
  - ② すべてのコードの接続が正確でかつ安全であることを確認して下さい。
4. 機器のご使用中には次の事項にご注意下さい。
  - ① 測定に必要な時間、量を超えないで下さい。
  - ② 機器全般および被検者に異常が起きない様絶えず監視して下さい。
5. 機器のご使用後は次のことにご注意下さい。
  - ① コード類の取り外しに際してはコード線を持って引き抜くなど、無理な力をかけないで下さい。
  - ② 保管場所については次の事項にご注意下さい。
    - 液体のかからない場所に保管して下さい。
    - 室温は約 10°C~40°C、湿度は 30%~90% (結露なきこと) が最良の保管環境です。
    - 埃のたつ場所は避けて下さい。
    - 傾斜、振動、衝撃 (運搬時を含む) など安定状態にご注意下さい。
    - 化学薬品の保管場所や引火ガスの発生する場所に設置しないで下さい。
  - ③ 付属品は清掃したのち、整理してまとめておいて下さい。
  - ④ 機器は次回のご使用に支障のないよう、必ず清掃しておいて下さい。
6. 故障したときの修理は弊社関係のサービス担当者にご依頼下さい。
7. 機器は改造しないで下さい。
8. しばらくご使用にならなかった場合、使用する前に必ず機器が正しくかつ安全に作動することをご確認下さい。
9. その他
  - ① 精密光学製品なので、丁寧に取り扱いして下さい。
  - ② 測定窓ガラスの汚れや傷は測定精度に悪影響を与えます。
    - 測定窓ガラスの表面はなるべく触らないで下さい。
    - 使用しないときには本体に付属のダストカバーを被せて下さい。
  - ③ ヒューズ交換の前に必ず電源部のスイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いて下さい。
  - ④ 本体内部には高電圧が蓄積されている箇所がありますので、電源のON/OFFにかかわらず本体のカバーを外さないで下さい。

**【貯蔵・保管方法及び使用期間等】**

1. 梱包状態での保管環境は、温度-10~55°C、湿度は10~95% (結露なき)

※ 本製品を取り扱う際は、取扱説明書を必ずご参照下さい。

こと)、気圧は700~1060hPaです。

2. ヒューズ交換の際は、電源スイッチを OFF にして、電源コードを抜いてください。ヒューズは指定のヒューズをご使用ください。指定以外のヒューズを使用すると、感電、火災の危険もあります。  
(指定ヒューズ：タイムラグヒューズ 250VT1.6AH、φ5×20 mm  
021501.6XP (リテルヒューズ製))
3. 測定窓ガラス表面が被検者の鼻の脂、指紋、埃などで汚れていますと測定結果に影響します。測定窓ガラスの表面は常にきれいに保つよう  
にしてください。測定窓ガラスを清掃する際には、傷をつけたり、割  
ったりすることのないようご注意ください。
4. 耐用期間：製造出荷後、正規の保守点検を行った場合に限り、8年間  
(自己認証による)。

#### 【保守・点検に係る事項】

##### 保守点検項目

- ①手持ちリモコン(RV- II Controller)、移動媒体(RV- II i- Media)の電池交換
  - ②プリント用紙の交換
  - ③ヒューズの交換
  - ④額当て、頬当ての清掃
  - ⑤測定窓の清掃
  - ⑥外装部の清掃
  - ⑦装置のチェック
- 詳細は取扱説明書を参照してください。

#### 【製造販売業者及び製造業者、サービスの氏名又は名称及び住所等】

##### <<製造販売業者>>

#### 株式会社 ライト製作所

〒174-8633 東京都板橋区前野町一丁目 47 番 3 号  
TEL : 03-3960-2246 FAX : 03-3960-2620

##### <<製造業者>>

#### 株式会社 東北ライト製作所 大郷工場

〒981-3521 宮城県黒川郡大郷町中村字屋敷前 45 番地の 1  
TEL : 022-359-2711 FAX : 022-359-3413

##### <<サービス>>

#### 株式会社 東北ライト製作所 大郷工場

TEL : 022-359-3113 FAX : 022-359-3213  
E-mail : righton.service@rightmfg.co.jp  
<URL><http://www.rightmfg.co.jp>

本製品を取り扱う際は、取扱説明書を必ずご参照下さい。